

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年08月31日

計画の名称	木更津市安全で安心な都市公園づくり（防災・安全）															
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	木更津市															
計画の目標	安全で快適な緑豊かな都市環境の形成を推進するため、都市公園の整備を実施するとともに、公園施設のバリアフリー化と安全・安心対策を実施し、子供や高齢者はじめ誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を推進することを目的とする。															
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		545	A	545	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29	H31	R3
1	便所のバリアフリー化を実施したことによるバリアフリー化率70％を目標とする。			
	便所のバリアフリー化を実施したことによるバリアフリー化率 （バリアフリー化率）＝（バリアフリー化された便所数）／（全便所数）	40%	55%	70%
2	公園施設長寿命化に基づく、老朽化し緊急度の高い公園施設の改築・更新率25.4％を目標とする。			
	老朽化し緊急度の高い公園施設の改築・更新率 （改築・更新率）＝（改築・更新された施設数）／（老朽化し緊急度の高い施設数）	0%	13%	25%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	木更津市	直接	木更津市	-	-	木更津市都市公園安全・ 安心対策事業	長寿命化対策（公園施設 1 3 4 ヲ所）	木更津市	■	■	■	■	■	425		-	
	A12-002	公園	一般	木更津市	直接	木更津市	-	-	木更津市都市公園安全・ 安心対策事業	安全安心対策（便所更新・バ リアフリー化）	木更津市	■	■	■	■	■	120		-	
											小計							545		
											合計							545		

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
木更津市市街地整備課において事後評価を実施	令和5年8月
	公表の方法
	市ホームページ
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	便所のバリアフリー化により、便所の利便性が向上した。 老朽化した遊具等の更新により、公園利用の際の安全性が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	
引き続き木更津市長寿命化計画に基づき老朽化した遊具等の更新を行う。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	便所のバリアフリー化を実施したことによるバリアフリー化率		
	最 終 目標値	70%	入札不調による工事の中止や老朽化した遊具等の更新を優先したことにより、予定実施数量を達成できなかった。
	最 終 実績値	55%	
2	老朽化し緊急度の高い公園施設の改築・更新率		
	最 終 目標値	25%	老朽化した遊具等の更新を予定より前倒ししたことにより、予定実施数量を上回った。
	最 終 実績値	60%	

位置図

平成29年～令和3年度

【木更津市安全で安心な都市公園づくり
(防災・安全)】

- 改築・更新（遊具等） 81施設
- 便所のバリアフリー化 3箇所



東京湾

袖ヶ浦市

R16

木更津Jct

木更津駅

R127

君津市

君津市

